



がっこうだより 令和5年12月15日 №11

きくがおか

北九州市立企救丘小学校 校長 花田 桂子
 Tel (093) 962-0414
 HP: <http://www.kita9.ed.jp/kikugaoka-e/>

きくがおかのやくそく

- ① もちのよいあいさつ
- ② じけずに最後まで
- ③ かんばってそうじ
- ④ おもいやりのある言葉
- ⑤ かんしゃの気持ち

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和5年4月18日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語、算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

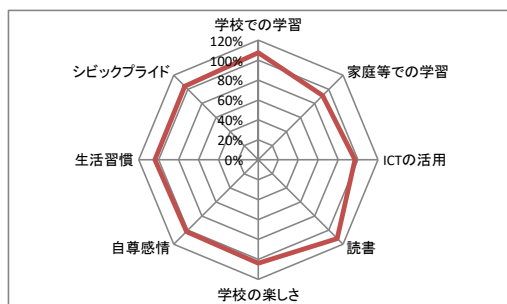
この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 教科に関する調査結果の概要

教科・区分	学力調査の分析（傾向や特徴）
国語	全国平均と比べて全体的に上回っています。知識及び技能に関しては、全国平均を大きく上回っており、思考力、判断力、表現力等に関しては、全国平均より少し高くなっています。
算数	全国平均と比べて、全体的に少し下回っています。知識及び技能に関しては、全国平均を下回っており、思考力、判断力、表現力等に関しては、全国平均と同程度です。

2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析
・本年度、朝自習や隙間時間に読書をする時間を取り入れたことで、「読書は好き」と感じている児童が多く、全国平均を上回っていることが分かりました。 ・「学校では、学んだことを生かしながら、課題を自ら解決し、自分の考えを発表することができた」と感じている児童が多く、「学校での学習」を満足に行えている児童が、全国平均より高いことが分かりました。 ・学校での学習を意欲的に取り組んでいることが分かった反面、家庭で平日1時間以上学習していると回答した児童が少ない実態があるようで、全国平均より低くなっています。

3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

本校高学年では、一部教科担任制を行っています。それぞれの教員が教科の特性に合わせて工夫した学習を展開できていることが、学習に対する満足感を味う要因の一つになっていると考えられます。また、ICTやホワイトボードを活用しながら、個人思考を行い、全体共有する場を十分に確保できていることも、今回の結果に影響を与えていると考えられます。今後も、学習中の積極的な話し合い活動の充実を図り、主体的に学習に取り組む姿勢を育てていくことを重点的に行っていきます。

② 家庭生活習慣等に関する取組

どの教科においても、自学ノート等の活用を通して、家庭での学習を充実させることが必要と考えます。自分で課題を見つけ、解決策に向けて取り組む学習を宿題に取り入れることや、AIドリルの活用で、「学校からの課題」から「自分で興味のあること・挑戦したいこと」に主体的に取り組む学習を浸透させていけるように、児童の発達段階に応じて取り組みます。